



《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

どうして「よい姿勢」がよいのかな？

新学期がはじまり、早いもので1学期も折り返し地点となりました。どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいる様子です。しかし、姿勢が気になります。椅子が斜めになったまま座っていたり、足が机からはみだしていたりする子が低学年に多いようです。昨年度の「えがお」では、保護者の皆様に姿勢と集中力・脳の働きが大きく関係していることをお伝えしましたが、今年度は、養護教諭が子どもたちに「どうして『よい姿勢』がよいのか」を考えさせる姿勢指導を低学年に行いました。背骨のしくみを知り、悪い姿勢を続けると、体を支える大切な背骨が曲がったまま固まってしまうことを教えてもらい、外で運動することや、良い姿勢を意識して過ごすことが体の成長に大切だということを学習しました。



3人1プランター栽培で学校にうるおいを

6月8日(金)に、なかよし班の3人で1つのプランターにサルビアとポチュラカを植えました。水やり当番を決めて、なかよし班で世話をしていきます。自分の役割に責任をもって取り組ませていきたいと思えます。夏には、真っ赤なサルビアと色とりどりのポチュラカが咲き誇るのをお楽しみに！



ナップサック作りに地域支援ボランティア

6月8日(金)から、6年生の家庭科のナップサック作りに、地域の支援ボランティアの方が9名来てくださいます。昨年のエプロン作りに続き、顔なじみの方々と家庭科の授業を子どもたちは楽しみにしています。出来上がったナップサックは、修学旅行に持っていくので、製作意欲も増すことと思います。

